

2023(令和5)年度(2023年4月1日から2024年3月31日まで)事業報告

1) 2023(令和5)年度東京都助産師会定時社員総会 報告

日時: 2023(令和5)年6月17日(土)13:00~14:30

場所: 公益財団法人 東京都助産師会館 5階講堂

社員総数: 1099名

出席社員: 662名(委任状含む)

定款第18条2項に基づき出席社員の中から、議長、板橋知子氏、副議長、一之瀬浩美氏、岩佐一恵氏が選出された。議長より、出席正会員(社員)および委任状数を報告し、正会員数の2分の1の出席をみたので議案の議決に必要な定足数を充足していることが告げられ、議案の審議に入った。

<監査報告>

監事の今村理恵子より、本日の定時社員総会に提出されたすべての議案および書類を調査し、いずれも法令および定款に適合しており、不当な事項はないと認めたことが報告された。

<決議事項>

1. 第1号議案 2022年度決算(計算書類)報告 承認の件

財務理事の横川峰子より資料に基づいて説明されたあと原案どおり可決された。

2) 2023年度事業報告

(1) 理事会・運営会議(すべてWEB開催)

- ・新型コロナウイルス感染症のため、理事会、運営会議・地区分会長会議をすべてオンラインにて開催。
- ・昨年度に引き続き東京都委託事業として「オンライン助産師相談」「コロナ陽性妊産婦自宅療養健康観察事業(2023年5月6日まで)」「助産師電話・訪問相談」などが実施された。
- ・理事会では東京都助産師会ビジョンについて検討された。

開催日	内 容
第1回理事会 2023年6月17日	<報告事項> 1.会長、副会長報告 2.専門部会・委員会報告 3.事務報告 4.東京都委託事業(オンライン相談・助産師相談) <審議事項> 1.委員会委員の承認 2.公益財団法人母子衛生研究会後援依頼の件 3.エドゥケーター認定承認の件
第2回理事会 2023年7月15日	<報告事項> 1.会長、副会長報告 2.専門部会・委員会報告 3.事務報告 4.東京都委託事業(オンライン相談・助産師相談) 5.南北関東地区研修会について <審議事項> 1.会員・賛助会員・賛助法人の承認 2.2024年要望書 3.日本助産師会総会代議員・予備代議員
第3回理事会 2023年9月8日	<報告事項> 1.会長、副会長報告 2.専門部会・委員会報告 3.事務報告 4.東京都委託事業について(オンライン相談・助産師相談) 5.東京都助産師会中長期ビジョン 6.助産師MAPデジタル化 <審議事項> 1.会員・賛助会員・賛助法人の承認 2.南北関東地区ブロック研修会予算 3.自宅療養中コロナ陽性妊婦の健康観察事業研究
第4回理事会 2023年10月19日	<報告事項> 1.会長・副会長報告 2.専門部会・委員会報告 3.事務報告 4.東京都委託事業について(オンライン相談・助産師相談) 5.パパ向け伴走型支援 <審議事項> 1.会員・賛助会員・賛助法人の承認 2.南北関東地区研修会収支 3.役員選任委員承認 4.中日アド企画イベント 5.分娩費保険適用化

第1回運営会議 2023年12月2日	<審議事項> 1.専門部会・委員会の2024年度活動計画
第5回理事会 2023年12月2日	<報告事項> 1.会長、副会長報告 2.専門部会・委員会報告 3.事務報告 4.東京都委託事業について（オンライン相談・助産師相談） 5.パパ向け伴走型支援 <審議事項> 1.会員・賛助会員の承認 2.2024年度部会委員会事業計画・予算案
第2回運営会議 2024年1月20日	<報告事項> 1.専門部会・委員会の2023年度活動報告
第6回理事会 2024年1月20日	<報告事項> 1.会長・副会長報告 2.専門部会・委員会報告 3.事務報告 4.東京都委託事業について（オンライン相談・助産師相談） 5.パパ向け伴走型支援 <審議事項> 1.会員・賛助会員の承認 2.2023年度部会委員会事業報告 3.次年度事業計画 4.2024年度社員総会日程 5.日本助産師会会員登録入力
第7回理事会 2024年3月23日	<報告事項> 1.会長・副会長報告 2.専門部会委員会報告 3.事務報告 4.東京都委託事業について（オンライン相談・助産師相談） <審議事項> 1.会員・賛助会員の承認 2.2024年度予算(案)について 3.教材などの貸出料金の件 4.災害講習会開催について 5.2024年度オンライン助産師相談について
第8回理事会 2024年5月21日	<報告事項> 1.会長、副会長報告 2.専門部会・委員会報告 3.事務報告 <審議事項> 1.2023年度収支決算 2.通常総会審議事項 3.通常総会開催方法について

(2) 地区分会長会議（地区理事：荒慶子 清水幹子 戸塚麻美）すべてWEB開催

開催日	内 容
第1回 2023年7月15日	理事会報告 意見交換 ・中長期ビジョンについて
第2回 2023年9月9日	理事会報告 意見交換 ・南北関東地区ブロック研修会について ・令和5年度子どもが輝く東京・応援事業について
第3回 2023年12月2日	理事会報告 意見交換 ・次年度予算案作成
第4回 2024年1月20日	理事会報告 意見交換 ・決算書類提出について ・伴走型支援について
第5回 2024年3月23日	理事会報告 意見交換 ・次年度の事業計画などについて

(3) 専門部会事業報告

【助産所部会】

担当理事：青柳三代子 委員長：齋藤史香 副委員長：野口としの

委員：笹井沙織 一之瀬浩美 柴亜希子 吉田樹里 松井絢子

委員会の開催 6回

目標：①新型コロナウイルス感染予防の対策をしながら助産所の業務が遂行できるように支援していく。

②新たな委託事業の積極的な実務参加をしていく。

活動：①助産所部会集会の開催（10月14日、2月17日）

- ②委託研修会（1回）11/18 新生児の最新知見 森岡一郎先生
- ③委員による対面と ZOOM での安全管理評価
（お産の取り扱いをやめて産後ケアのみに変更する助産院があり 26 か所が対象となる。）
- ④各医療連携会議の参加、医療連携に関する書類作成及び連携助産所の確認
- ⑤各種医療連携会議の参加と情報交換
- ⑥助産所部会委員の在り方に関する検討
- ⑦助産所と医療連携機関等との連携支援事業を開始し助産所開業の相談
- ⑧各種医療連携会議出席
* ハンズの会 * かつしか赤十字母子医療センター連絡会議 * 日赤医療センター連携会議
* 周産期協議会 * 多摩地域周産期連携会議 * 東部地域周産期連携会議

評価；①に関する活動を委託講習会開催の内容と部会集会にて周知していくことができ、助産所評価や医療連携会議に出席することにより助産所の業務安全性をさらに高める活動が必要と思われる

- ②東京都委託事業「助産所と嘱託医療機関等の連携支援」に関する活動内容を委員会にて話し合い東京都の依頼で出産を取り扱う助産所開業希望者の相談窓口を区部・多摩地区 2 か所 に開設し周知のチラシを都内医療機関・保健所・保健センター・教育機関・開業助産師に配布 し 2 名の助産師からの相談を受けた。

出産を都内開業助産師に出産を取り扱う助産師にアンケート調査を実施し東京都に報告し次年度の事業受託につなげた。

開業助産所の嘱託医・嘱託医療機関に関する問題解決に向けて継続して活動を展開していく必要性がある

【施設勤務部会】

担当理事：大谷紗弥子 委員長：水村友香

委員：赤山美智代 岩田敦子 三島典子

委員会開催 4 回開催

目標：①助産ケアの充実を図るための研修会の開催

- ②他部署との連携強化
- ③施設勤務部会会員情報の把握と会員のニーズの把握

活動：①令和 6 年 3 月 9 日に安全管理研修（災害時に備える！助産師の役割）を開催した。

計画していたキャリア支援研修は中止とした。

- ②東京都委託講習会にて 2 講座を担当した。
- ③各研修会にて今後期待する研修テーマについてアンケートを実施した。

評価：①安全管理研修の参加者は 13 名であった。キャリア支援研修は申込者 1 名であり中止とした。研修計画は年度初めに立てていたが、講師決めや日程決めの時期が遅く、告知や宣伝期間が短かったため集客につながらなかったことが反省点である。

- ②施設勤務助産師のニーズを汲んだテーマでの委託講習会を計画・実施できたが、施設勤務助産師へのアピール方法を工夫していく必要性を感じた。非会員が助産師会への入会に繋がるような機会になるような工夫も考えていきたい。

- ③会員情報は個人情報でもあるため、だれがどこまで情報を把握することが可能なのか、どのようにニーズの把握し非会員を入会に繋げるか具体的な方策を立てることができないまま経過したため、来年度は着手したい。

【保健指導部会】

担当理事：大坪三保子 委員長：牧野好恵

委員：伊藤敦美 井澤郷子 古川純子 秋山仁恵 板橋知子 武田雅子

委員会開催 3 回

目標：①部会員の保健指導に関する知識を深め、技術向上を図る。

- ②部会員の職務上必要な自己評価の機会の定着。
- ③部会員の活動状況を把握する
- ④部会員のニーズに応じた活動の推進。
- ⑤部会員の増員（委員会メンバーの増員）にむけての活動。
- ⑥部会員が安全に業務を遂行できるようサポートする。

活動評価

- ・日本助産師会から依頼の保健指導部会活動報告書を作成、提出した。
- ・日本助産師会保健指導部会の定例会、交流会への出席。
- ・中日アド企画「まなべびサイト」助産師相談コーナーの監修（毎月発行）を継続して担当している。（目標①④⑤）
- ・東京都助産師教育委託講習会 4講座（対面1、オンライン3）の企画、12月に開催。（目標①②④⑤⑥）今までのアンケート結果などから会員のニーズに応えられるようなテーマ、講師の検討を重ね、計画した。今回海外在住の講師の講習会にてZoomトラブルが生じたが、委員メンバーと教育委員と連携をはかり対応できた。
- ・保健指導部会主催、オンライン勉強会&交流会の企画開催（目標①②③④⑤⑥）
 テーマ：知って活用！安全対策『インシデント・アクシデント勉強会』&保健指導部交流会
 講師：東京都助産師会医療安全管理室長 山本智美氏
 参加人数：11地区分会から22名。参加者には各地区分会で学びの共有を依頼。
 日本助産師会作成動画や当会の『インシデント・アクシデントマニュアル』を用いて、運用や実施について意見交換し、共有できた。
 保健指導部会員の活動特性として、多くが個人単位であり、以前から交流会の希望の声があった。勉強会でのグループワークでの意見交換は経験の共有や安全管理に対する意識づけとなり、また会員同士の交流や保健指導部会の活動の周知にもつながった。メルマガにて開催報告をしている。インシデント・アクシデントの報告についても定期的な周知の必要性があり、安全管理の勉強会の開催継続は効果的であるため、今後も年1回程度での企画を検討したい。

【総務総括委員会】

担当理事：赤山美智代 岩田敦子 委員長：村田淳子

委員：石村あさ子 板橋知子 北目利子 山本弥生

委員会開催 5回

目標：総会の運営が円滑に行えるようにサポートする。

各表彰の推薦事業がスムーズに行われるようにサポートする

評価：総会：式典は無く大きなトラブルもなく終了。

一方で、コロナ禍以降、総会が簡素化されたため、以前のような来賓者の接待や準備などの経験をしていない。

次年度以降の総会の関わり方を今一度考えなければならないと思う。

2023年度表彰受賞者（敬称略）

- ・日本助産師会会長表彰
板橋知子 今宮昇子 今村理恵子 鈴木享子 田邊知美
- ・日本助産師会永年活動感謝状受賞者
田中幾子 山村節子
- ・東京都功労賞： 推薦するも選外
- ・東京都医療功労賞： 推薦するも選外
推薦事業について昨年からの選外が続き、今までの推薦基準の見直しも必要かと考えられる

【広報委員会】

担当理事：荒慶子 委員長：二村文子

委員：伊藤敦美、斎藤典子、西川直子、高橋一紗

委員会開催 6回

目標：本会の活動や情報を、会員、母子とその家族、社会に幅広く発信する

評価：①Tokyo サンバ通信は、年3回（8月、12月、3月）で配信した。

東京都助産師会の部会や委員会の活動や会員の活動などを主に掲載している。

②メルマガは毎月10日配信。サンバ通信配信月は、臨時便がでる。

配信を急ぐ場合などは、臨時便を配信。

③賛助個人会員向け講座 6月から毎月1回（計10回）

賛助個人会員19名、単発参加者24名（12月講座まで）

アーカイブ配信などを設け会員獲得等を試みた。アーカイブ配信があることで助産師会員（単発参加者）の申し込みは増えたが、個人会員の当日参加の人数は減っている。

④SNSの活用 Facebook、Twitter、Instagramにて情報発信。依頼があれば配信（不定期）

⑤南北関東地区研修会 写真コンクール23作品の応募があった。

【政策提言委員会】

担当理事：赤山美智代 委員長：佐山理絵

委員：清水幹子 横川峰子 青柳三代子 代表理事 専務理事 常務理事

目標：要望書の作成 東京都保健局との交渉 要望書陳情活動 各地区分会の要望活動の推進

評価：東京都助産師会の令和6年度の政策要望書を作成し、計画通りに東京都各政党に要望書提出した。

各地区分会からの要望を聞き作成する要望書に反映し内容を深めることができた。

各関係機関への要望や勉強会など委員会活動はほぼ実施できた。要望事項の作成も委員の活動分野を考慮して役割分担し、委員会全体で行う事ができた。本務などの理由で、実際の要望書手交時の参加者が少ないタイミングもあったので、来年度以降は委員以外の理事にも参加いただけるよう早めに声かけしていく必要がある。

要望事項

- 1.すべての出産を経験する女性が、産前産後のケア・支援サービスを利用できるよう支援されたい。また、地域で母子を支援する助産師の参画が推進されるよう区市町村に周知を図られたい。
- 2.助産所における安全で安心な分娩を支援されたい。
- 3.安心して妊娠・出産・子育てができる社会を実現するために、地域や施設で活動する助産師の能力の向上にむけた取り組み推進されたい。
- 4.NICU等入院児の在宅療養への円満な移行及び退院後の安定した生活の継続のために、母親への支援において、地域の助産師の活動を推進されたい。
- 5.妊婦向け助産師オンライン相談の予算を令和6年度以降も継続されたい。
- 6.中学校・高校における助産師による包括的性教育の実施を推進していただきたい。

日時	要望先	参加者	備考
8月30日	東京都議会立憲民主党	3	
8月31日	東京都議会自由民主党	4	
9月4日	都民ファースト	2	
9月4日	公明党	3	
10月4日	自民党本部	3	国家予算要望
12月6日	東京都知事小池百合子氏	6	

【教育委員会】

担当理事：伊藤仁子 大谷紗弥子 委員長：桑原さやか

委員：池田真弓、石川祐香、井野川渚、大瀧悦子、北川真貴、三木佳代子

委員会開催 5回開催

目標：①東京都委託助産師教育指導講習会の計画と運営を行っていく

②NCPR の物品貸出し

評価：①東京都委託助産師教育指導講習会の計画と運営

- ・対面開催5講座（9月2講座、12月1講座、2月2日講座）、オンライン講座19講座、合計24講座を計画通りに開催した。
 - ・オンラインは、zoom ミーティングを活用し、グループワークなども効果的に実施できた。
 - ・2023年度は、南北関東地区研修会が東京都助産師会の担当であったため10月を避け開催した。10月は学会も多いため、11月開催としたことで参加しやすくなった。
 - ・講座によって受講者数の差が大きく、参加の呼びかけに苦渋した。（9月の連休付近は例年参加者が少ない傾向にある）
 - ・zoomトラブル、アンケートの案内忘れ（自作のアンケートを使用）等あったが、委員で連携を取り対応できた。
 - ・アンケートの回収率にはばらつきがあるものの、結果は概ね良好（大変満足、大変役に立つ）であった。講師や参加者から3時間の講義は長丁場である、グループワークをもっと取り入れて欲しい、オンデマンド（録画）配信も検討して欲しい、資料はチャット貼り付けではなく事前配布にして欲しい等の意見があったため、今後検討していく。
- ②NCPR の物品貸出し
- ・貸し出し規定に基づき、借用書を改訂した（別紙）
 - ・リストに基づき、物品の整理を行った

【いのちの教育委員会】

担当理事：清水幹子 委員長：工藤有里

委員：板橋知子 代田佳恵 棚木めぐみ 牧野好恵 土屋麻由美 若原彩香 塚本真弓 森下恵理子

委員会開催 5回

目標：①会員が包括的性教育における学びを深め、最新知識の習得、技術の向上を図る機会を提供する。

- ②「生・性を語るエドゥケーター」について会員への周知活動を行い、認定者の増員を図る。
- ③「生・性を語るエドゥケーター」による充実した包括的性教育の実践、またその拡大。
- ④性教育等の最新の情報を収集し、会員に情報提供する。
- ⑤実施助産師に対する謝金の増額の要望を実施主体に行う

活動：①研修会の開催

- ②生・性を語るエドゥケーター交流会の開催（年2回）
- ③性教育講演コーディネート（東京都助産師会への依頼について、エドゥケーターの派遣）
- ④エドゥケーター申請希望への教育（性教育講演の見学や実施機会のコーディネート）
- ⑤エドゥケーターの実施報告を集計し、実施内容の見直し
- ⑥包括的性教育実施におけるエドゥケーターからの相談を受ける
- ⑦委員会内の各活動のマニュアル作成
- ⑧教材の見直し、更新
- ⑨会員への包括的性教育に関する情報提供方法を検討
- ⑩性教育実施依頼、生・性を語るエドゥケーター等における周知方法についての検討（HP等）
- ⑪エドゥケーター資格獲得のための制度の見直し

評価：①東京都の委託講習会も含め、年3回の研修会を企画した。会員が包括的性教育における学びを深め、最新知識の習得、技術の向上を図る機会を提供できた。

- ②「生・性を語るエドゥケーター」について会員への周知活動は、HP や SNS、メーリングなどで

周知を図っていった。今年度は、新規申請者は9名となり、認定者の増員はまだまだ少ないが近年では一番の増員となった。申請方法を Google フォームに変更したこと、経験者の新規申請者について、実施内容の確認を zoom でしたのは大きな変更を実施した。

- ③「生・性を語るエドゥケーター」による充実した包括的性教育の実践、またその拡大に関しても学校への働きかけをコーディネーターが行った。
- ④研修会などで、性教育等の最新の情報を収集し、研修会として会員に情報提供した。
- ⑤コーディネーターを通じて、実施助産師に対する謝金の増額の要望を実施主体に行った。

性教育件数 保育園、幼稚園 5 小学校 10 中学校 7 高校 4
保護者（中学保護者）1 総数 27（東京都助産師会に依頼のあったものに限る）

研修会

開催日	研修会	講師	参加者数
7月22日	性に向き合うアティチュード ～ノンタッチメンタルな姿勢を習得する～	柳田正芳	37
3月9日	協働で実現する包括的性教育 ～助産師の役割を共に考える～	田代美江子	43

【医療安全対策室】

室長：山本智美 委員：今井晶子 舘入祥子 五十嵐由美子 林田聖子
星野雄子（助産所部会） 板橋知子（保健指導部会）

【助産業務安全対策委員会】

担当理事：宗尚子

委員：代表理事 専務理事 常務理事 財務理事 三専門部会理事 医療安全管理室代表

顧問：五島丈裕

委員会 6回開催

目標：助産業務安全対策の体制確保等を行う

活動：①安全管理室からの報告事例について検討する

②会員に対して事故防止のための教育研修、安全情報の配信を行う

③地区分会、外部からの問い合わせ、相談事項について検討する

評価：①異常報告・転院報告について安全管理室からの報告を受け、対応について検討した。今年度は対応が必要な重大事故案件はなかった

②IT 報告が適確に行えていない助産所に個別対応し、現状把握に努めた

③インシデント・アクシデントレポート提出を開始した。3件の報告。助産所部会、保健指導部会へ情報共有し事故防止となっていると考える。今後もレポート提出の必要性を周知続けることが必要

④産後ケアガイド、安全管理指針の策定など、安全管理についての新しい情報を会員へ提供した

【災害対策委員会】

担当理事：戸塚麻美 委員長：名嘉真あけみ

委員：榎本裕子 熊谷典子 光武智美

委員会 4回

目標：①各地区分会が被害想定をもとに災害対策活動の計画が出来るよう支援する

②災害時の地区分会相互支援のための準備を進める

活動：①日本助産師会災害対策委員会連携集会（東京都助産師会から参加 42名）

テーマ：各地区における災害時地域連携に向けた取り組み

②安否確認訓練・・・24時間以内に89.6% 72時間以内に97.5%確認

能登半島地震と訓練が重なったことで石川県に帰省中の会員の安否確認が速やかに出来た

③災害対策地区分会交流会

二次医療圏ごとのグループワークは地域の特徴が共通認識となり活動計画に具体的に反映できるようになった

④災害時周小児産期医療体制検討部会出席

評価：各地安否確認訓練と実際の地震が重なりより実感のある活動への動機づけになった
実動時の二次医療圏を意識づけ地区分会間の交流へ誘導できた

【産後ケア推進特別委員会】

担当理事：大坪三保子 委員：青山さやか

委員：佐々木美幸 一之瀬浩美 金子敦子 安田祐美子

委員会 5回開催

目標：産後ケア評価表を完成させ、産後ケア施設に導入する。

活動：産後ケア評価表に関して、2022年に妥当性を検討した結果をもとに、完成版を作成する 評価表導入に向けた計画を立案し、導入を開始する

評価：2022年に妥当性を検討した結果をもとに、改良版を作成した

【役員選任委員会】

委員長：江坂まや

委員：白石朗世 館入祥子 越川恵美 武田雅子 箱田和香子

子育て女性健康支援センター

電話相談 毎週火・木曜日 10:00～16:00 相談件数 122件

南北関東地区研修会

開催日：10月8・9日 会場：聖路加国際大学

テーマ：社会の変化に呼応する助産ケアの創出と実装

助産学会とコラボ開催。東京都助産師会のプログラムとしては、以下の通り

映画「1%の風景」上映 141名

日本助産師会の高田会長講演と交流会

シンポジウム「助産師のエンパワーメント」現地100名余 オンライン280名

レオポルドセミナー 100名余参加

写真でみる助産師展

オンライン助産師相談

2023年4月1日から2024年3月31日まで東京都委託事業として実施。相談件数 1,043件

コロナ陽性妊産婦自宅療養健康観察事業

2023年4月1日～2023年5月7日 東京都委託事業として実施。 延べ335件

2023年度 東京都委託助産師教育指導講習会 プログラム

	開催日	会場	開催時間	講座テーマ	講師(敬称略)
第1回 専門的自立能力	9/2 (土)	東京都助産師会館	9:30 ~ 12:30	産前産後の理学療法的な知識と実践	東京北医療センター 理学療法士 布施 陽子
			13:30 ~ 16:30	女性の健康と東洋医学	伝統醫學研究所日色鍼灸院 院長 日色 雄一
	9/6 (水)	ZOOM	13:30 ~ 16:30	外科医から見た乳腺炎の診断と治療	練馬駅前内視鏡・乳腺クリニック 院長 佐貴 潤一
	9/15 (金)	ZOOM	13:30 ~ 16:30	災害を振り返り、母子を含めた災害弱者の健康管理を考える	江戸川大学 メディアコミュニケーション学部 特任教授 隈本 邦彦 合同会社BOUKEN 代表社員 高野 明子
	9/16 (土)	ZOOM	9:00 ~ 12:00	産科混合病棟における助産師の役割	国際医療福祉大学大学院 副大学院長 福井 トシ子
13:30 ~ 16:30			更年期	日本赤十字社医療センター第一産婦人科部長 木戸 道子	
第2回 最新の周産期知見	11/15 (水)	ZOOM	13:30 ~ 16:30	胎児診断 ～胎児期からの家族支援について～	FMF胎児クリニック東京ベイ幕張 院長 林 伸彦
	11/18 (土)	ZOOM	13:30 ~ 16:30	新生児医療の最新知見	日本大学医学部小児科学会系小児科学分野 主任教授 森岡 一朗
	11/19 (日)	ZOOM	13:30 ~ 16:30	男性のリプロダクティブヘルス・ライツ	聖隷浜松病院 リプロダクションセンター センター長 今井 伸
	11/21 (火)	ZOOM	9:00 ~ 12:00	SDGsと生殖の健康支援	(株)ファミワン 代表看護師 不妊症看護認定看護師 西岡 有可
			13:30 ~ 16:30	乳腺炎の予防とケア	みやした助産院 院長 宮下 美代子
11/29 (水)	ZOOM	13:30 ~ 16:30	HDP.GDMの最新知見	東京都立墨東病院 産婦人科医 部長 兵藤 博信	
第3回 保健指導に役立てよう	12/3 (日)	東京都助産師会館	13:30 ~ 16:30	姿勢と身体の使い方からみる産前・産後の骨盤ケア ～フィジカルアセスメントの重要性～	鍼灸整骨院サステーナ 院長 國吉 裕史
	12/14 (木)	ZOOM	13:30 ~ 16:30	子育てと介護を同時に担う母親の課題と支援のポイント	NPO法人 こだまの集い 代表理事 室津 瞳
	12/17 (日)	ZOOM	9:00 ~ 12:00	助産師が知っておくべき乳がん関連の話	ピンクリボン助産師アカデミー 主宰 放射線科医 Satoko Fox
	12/18 (月)	ZOOM	9:00 ~ 12:00	赤ちゃんの頭のかたち	0歳からの頭のかたちクリニック 小児科医 草川 功
			13:30 ~ 16:30	家族支援に活かすケアリング・マスキュリティ	帝京大学医療技術学部看護学科 寺田 由紀子
12/23 (土)	ZOOM	13:30 ~ 16:30	新生児・早産児の成長発達ケアとNICU ～NICUの赤ちゃんと家族の理解のために	都立墨東病院 NICU副看護師長 NICUPTレーナー 内海 加奈子	
第4回 ウイメンズヘルス	2/2 (金)	ZOOM	13:30 ~ 16:30	子育てに関わる大人の発達障害	公立大学法人 横浜市立大学付属病院 精神看護専門看護師 渡邊 香織
	2/3 (土)	ZOOM	9:30 ~ 12:30	無痛分娩における助産師の役割	社会福祉法人 恩賜財団母子愛育会 総合母子保健センター 愛育病院 助産師 今井 晶子
	2/7 (水)	ZOOM	9:30 ~ 12:30	メンタルヘルスが気になる妊産婦との対話ポイントと助産師ができる支援	国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター リサーチフェロー 精神科医 三田村 康衣
	2/9 (金)	ZOOM	9:30 ~ 12:30	乳児の成長・発達の観察ポイント	国立成育医療研究センター 周産期・母性診療センター 新生児科医長 和田 友香
	2/15 (木)	東京都助産師会館	9:30 ~ 12:30	オキシトシンを手がかりに周産期ケアを創る	聖路加国際大学 学長 堀内 成子
13:30 ~ 16:30			抱っことおんぶ	抱っことおんぶの研究所 理事長 園田 正世	